

平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社秋川牧園 上場取引所 東
 コード番号 1380 URL http://www.akikwabokuen.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋川 正
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 原田 良人 TEL 083-929-0630
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	4,269	2.3	47	△31.9	67	△36.0	29	△50.3
30年3月期第3四半期	4,171	2.1	70	△43.6	104	△18.7	58	△34.5

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 42百万円 (△35.7%) 30年3月期第3四半期 66百万円 (△31.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	7.03	—
30年3月期第3四半期	14.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	5,103	1,595	31.3	382.70
30年3月期	5,036	1,573	31.3	377.50

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 1,595百万円 30年3月期 1,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
31年3月期	—	0.00	—		
31年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,650	2.7	82	△9.6	105	△18.1	65	△23.9	15.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	4,179,000株	30年3月期	4,179,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	9,877株	30年3月期	9,822株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	4,169,145株	30年3月期3Q	4,169,680株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年12月31日)におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等により、緩やかな回復基調で推移してまいりました。一方で、人手不足の深刻化や、米中間の貿易摩擦の影響、英国のEU離脱問題等、先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、個人消費が伸び悩むなど依然として厳しい環境にありますが、高齢化が進む中での健康意識の高まりもあり、消費者の食の安心・安全に対する関心は年々高くなっております。

このような状況の中、直販事業では通販事業を行う会社向けの販売の減少があったものの、生産卸売事業の主力の鶏肉及び冷凍加工食品の販売が好調に推移したことから、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、上記の売上高の増加がありましたが、飼料価格の値上がりや、鶏肉パックセンターの人手不足に伴う製造コストの増加、間接部門の販売費及び一般管理費の増加等により減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、42億69百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は47百万円(前年同期比31.9%減)、経常利益は67百万円(前年同期比36.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は29百万円(前年同期比50.3%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(生産卸売事業)

生産卸売事業につきましては、主力の鶏肉及び冷凍加工食品を中心に販売が好調に推移したため、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、売上高の増加がありましたが、飼料価格の値上がりや、鶏肉パックセンターの人手不足に伴う製造コストの増加、営業経費などの販売費及び一般管理費の増加により減益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、34億74百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は2億82百万円(前年同期比8.1%減)となりました。

(直販事業)

当社の食品を中心に会員宅に商品をお届けする直販事業につきましては、全国向けの宅配の販売が首都圏を中心に増加したものの、通販事業を行う会社向けの販売が大幅に減少したことにより売上高は減少いたしました。利益面につきましては、売上高の減少や、直売店のリニューアル費用、会員募集費の増加により減益となりました。

この結果、直販事業の売上高は、7億94百万円(前年同期比11.8%減)、営業損失は6百万円(前年同期は8百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、67百万円増加し、51億3百万円となりました。これは主に売掛金が1億82百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ45百万円増加し、35億7百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ21百万円増加し、15億95百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年11月5日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	624,482	493,781
受取手形及び売掛金	646,760	829,586
商品及び製品	164,844	152,319
仕掛品	346,719	391,938
原材料及び貯蔵品	94,073	90,091
未収入金	135,394	148,807
その他	60,531	27,533
貸倒引当金	△1,436	△905
流動資産合計	2,071,370	2,133,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,049,584	1,084,474
機械装置及び運搬具(純額)	480,221	525,122
土地	1,012,142	1,014,642
建設仮勘定	90,569	20,002
その他(純額)	95,259	111,136
有形固定資産合計	2,727,778	2,755,378
無形固定資産		
のれん	27,058	24,322
その他	39,376	31,180
無形固定資産合計	66,434	55,502
投資その他の資産	170,815	159,472
固定資産合計	2,965,028	2,970,353
資産合計	5,036,398	5,103,507
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	454,876	491,945
短期借入金	1,026,939	1,082,400
リース債務	4,712	5,609
未払法人税等	27,189	7,205
賞与引当金	35,152	42,091
その他	309,740	370,005
流動負債合計	1,858,610	1,999,257
固定負債		
長期借入金	1,279,097	1,189,541
リース債務	21,646	25,255

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
繰延税金負債	9,593	6,600
退職給付に係る負債	239,139	230,089
役員退職慰労引当金	54,356	57,068
固定負債合計	1,603,833	1,508,554
負債合計	3,462,443	3,507,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	553,441	553,441
利益剰余金	274,959	283,441
自己株式	△5,839	△5,880
株主資本合計	1,536,711	1,545,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,162	50,359
その他の包括利益累計額合計	37,162	50,359
非支配株主持分	80	184
純資産合計	1,573,955	1,595,695
負債純資産合計	5,036,398	5,103,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	4,171,660	4,269,485
売上原価	3,115,773	3,240,505
売上総利益	1,055,887	1,028,979
販売費及び一般管理費	985,857	981,317
営業利益	70,030	47,661
営業外収益		
受取利息	79	99
受取配当金	918	1,135
補填金収入	13,016	15,971
補助金収入	5,487	4,521
保険返戻金	18,111	—
その他	6,187	7,579
営業外収益合計	43,802	29,306
営業外費用		
支払利息	8,811	9,770
その他	30	0
営業外費用合計	8,841	9,771
経常利益	104,990	67,197
特別利益		
固定資産売却益	1,693	1,783
補助金収入	2,085	47,000
特別利益合計	3,778	48,783
特別損失		
固定資産売却損	965	110
固定資産除却損	5,652	150
固定資産圧縮損	2,085	47,000
特別損失合計	8,702	47,261
税金等調整前四半期純利益	100,066	68,719
法人税、住民税及び事業税	37,231	16,653
法人税等調整額	3,716	22,633
法人税等合計	40,947	39,287
四半期純利益	59,118	29,431
非支配株主に帰属する四半期純利益	136	103
親会社株主に帰属する四半期純利益	58,982	29,328

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	59,118	29,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,181	13,196
その他の包括利益合計	7,181	13,196
四半期包括利益	66,300	42,628
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,164	42,524
非支配株主に係る四半期包括利益	136	103

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	3,270,894	900,766	4,171,660
セグメント間の内部売上高 又は振替高	251,972	2,293	254,265
計	3,522,866	903,059	4,425,926
セグメント利益又は損失 (△)	306,717	8,174	314,892

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	314,892
のれんの償却額	△2,736
全社費用(注)	△242,126
四半期連結損益計算書の営業利益	70,030

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	3,474,798	794,686	4,269,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	244,897	4,732	249,630
計	3,719,696	799,419	4,519,115
セグメント利益又は損失 (△)	282,010	△6,381	275,628

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	275,628
のれんの償却額	△2,736
全社費用(注)	△225,230
四半期連結損益計算書の営業利益	47,661

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。